



外環 JOURNAL

ガイカンジャーナル

NEWS

3. 皆様へお知らせ

<令和5年12月に「トンネル工事の安全・安心確保の取組み」の一部改訂を行いました>

令和5年8月から10月にかけて、調布市入間町の野川サイクリング道路(管理者:狛江市)において、外環事業にて実施している掘進完了区間の巡回監視を行った際に、舗装の損傷(大きさ約10cm)を確認し、応急復旧を行いました。当該サイクリング道路の管理者への連絡を怠っていました。

この対応を踏まえ、緊急時以外においても、舗装面の異常等が確認された際の関係機関との連絡体制の構築について「トンネル工事の安全・安心確保の取組み」に追加しました。今後は、連絡体制に基づく関係者への連絡を徹底してまいります。なお、舗装の損傷については、狛江市が主体で調査を実施しており、護岸の緑化ブロック背面の吸出防止材の劣化等複合的な要因によると推定されました。NEXCOは、その調査結果及びシールドトンネルの掘進データや掘進後の地表面計測結果等により、シールドトンネル掘進による影響である可能性は極めて低いと、有識者に確認しております。



「トンネル工事の安全・安心確保の取組み」 P11より

<シールドマシンの現在位置をホームページでお知らせしています!>

東京外環プロジェクトでは、ホームページでシールドマシンの現在位置を毎日お知らせしています。是非ご覧ください。



1. 新たに2つのシールドマシンの掘進作業を開始しました!

令和6年1月から中央JCT南側Bランプシールドトンネルが、令和6年2月から東名JCT Aランプシールドトンネルが、それぞれ掘進作業を新たに開始いたしました。

引き続き、すでに掘進作業を行っているシールドマシンを含め、事業者一同、細心の注意を払い安全に工事を進めてまいりますので、ご理解・ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

東名JCT Aランプシールド



中央JCT南側Bランプシールド



<中央JCT南側ランプシールドの掘進に向けたオープンハウス・現場視察会を開催!>

令和5年10月12日から14日に中央JCT南側ランプシールドトンネル工事の沿線地区において、「事業用地内の掘進」などについてご説明を行うオープンハウス、意見交換の場及び現場視察会を開催し、オープンハウスには延べ173名、意見交換の場には延べ17名、現場視察会には延べ89名の住民の方々が参加されました。当日の資料等はホームページでご確認ください。



現場視察会の様子



※東名JCTランプシールドトンネル工事の今後の掘進などに関するオープンハウス・現場視察会は令和4年12月に開催済み

<家屋調査の実施>

シールドトンネル工事の掘進作業にあたっては、細心の注意を払いつつ、慎重に進めて参りますが、万が一、工事の施工に起因する建物等の損害が発生した場合は、当該損害に対して補償させていただきますため、工事実施前の建物等の状況を把握する家屋調査を工事箇所周辺にお住まいの皆様を対象に実施しています。すでに調査にご協力頂いた方の中で、ご自宅の建替えやリフォームをされて再調査をご希望の方や、新たに調査をご希望される方は、下記問い合わせ先にご連絡をお願いします。

<外環メールマガジン>

メールマガジンにご登録いただくと、施工状況や現場視察会等のイベントの情報を随時お送りします。是非ご登録ください。



国土交通省関東地方整備局
東京外環プロジェクト事務局
外環専用フリーダイヤル
TEL 0120-34-1491
(平日9:15~18:00)

NEXCO
東日本高速道路株式会社
関東支社 東京外環工事事務所
外環専用フリーコール
TEL 0120-861-305
(平日9:00~17:30)

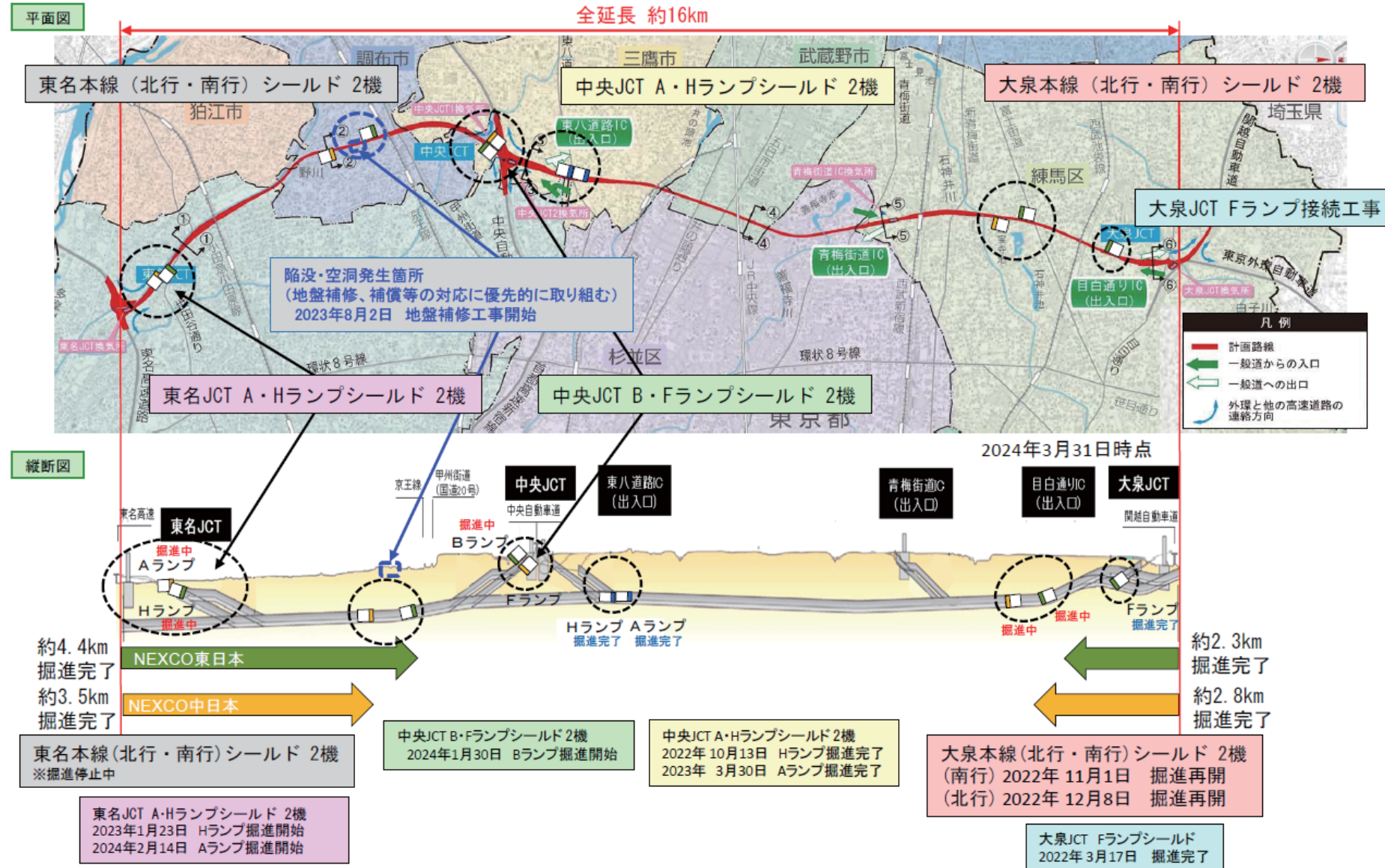
NEXCO
中日本高速道路株式会社
東京支社 東京工事事務所
外環専用フリーコール
TEL 0120-016-285
(平日9:00~17:30)

東京外環の工事情報等については
専用ホームページでもご覧いただけます。
東京外環プロジェクト
https://tokyo-gaikan-project.com/



2. 工事の状況をお知らせします

- シールドマシンの掘進作業については、再発防止対策等が有効に機能していることを、有識者委員会で確認しており、安全に作業を進めています。
- 各JCT部においても、外環道と既存の高速道路を接続するランプ工事や開通後に必要となる設備の工事を進めています。



大泉JCT



目白通りを越えるCランプ橋を架設

東名JCT



ランプ部となる地下構造物を施工中

中央JCT



設備用の地下構造物を施工中

地盤補修工事の進捗状況

令和2年10月18日に調布市内で発生した陥没・空洞事故及び、地盤補修工事におきましては、地域の皆さまに大変なご迷惑、ご心配をお掛けしておりますことを心よりお詫び申し上げます。

令和5年8月から実施している地盤補修において、令和5年11月に施工中、近隣の入間川より気泡が発生し、ご心配をおかけしましたが、周辺環境への影響がないことを確認の上、工事を再開しています。

今後も引き続き、地盤補修を慎重に進めてまいります。現在の最新状況については、



地盤補修状況

